

# 議 会 だ よ り

まるもり

Miyagi Prefecture  
Marumori Town Assembly  
News

第 246 号

2019. JAN  
平成31年1月21日

発行 宮城県丸森町議会  
編集 議会広報常任委員会



百々石公園からの初日の出

(関連記事は16面)

## 12月議会

- 伊具高生と議員の懇談会 ..... 2ページ
- 全校にエアコン設置可決 ..... 4ページ
- 一般質問** 6名の議員が町政を問う ..... 9ページ



まあるい森の里からごんにちわ

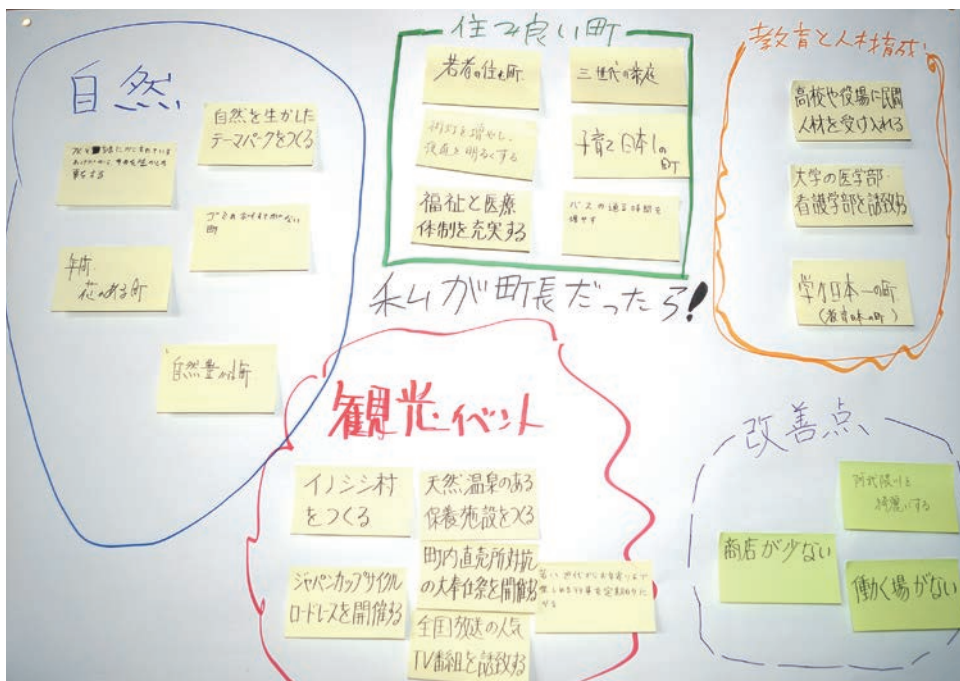
# と一緒に考えました

## 生徒と議員の懇談会

### イノシシ村など提言

「住みたいまちは、どんなまち」を、議員と生徒が一緒になって考える懇談会「住みたい町を創るワーク

ショップin伊具高校」を昨年引き続き、11月13日に高校体育館を会場に実施しました。



今回は、伊具高校2年生85名から参加者を募り、町づくりに関心の高い27名の生徒と議員が7グループに分かれ、ワークショップ形式で活発に意見交換をしました。

当日は、3つのサブテーマのうち、2つは議会側、1つは学校側からそれぞれテーマを設定しました。

懇談会の内容は、次のとおりで、地域に対して普段感じていることや地域の課題、「若者がどうすれば丸森に定住するのか」など、生徒から積極的な意見を聞くことができました。

懇談会を通じて、普段、話す機会が少ない年代からの様々な視点で話し合ったことは、今後のまちづくりにも努力してまいります。

#### テーマは

「自分が住みたいまちは、どんなまち」

#### サブテーマ

- ①あなたが町長だったら、どんな町にしたいですか。
- ②将来、丸森に住むには何が必要だと思いますか。
- ③地域へ貢献するために、伊具高校はどんな取り組みができますか。

#### 話し合い結果

#### ①あなたが町長だったら

- ・自然を生かしたテーマパークをつくり、観光客を呼び込む（イノシシ村等）
- ・公共施設を整える
- ・公園を増やす
- ・若者が住みたくなる町
- ・街灯を増やす

他

# まちづくり 伊具高生



## ② 将来、丸森に住むには

- ・働く場所がある
- ・福祉と医療の充実
- ・子どもを育てる施設（遊べる公園）
- ・若者が遊ぶ場所
- ・住宅、アパート

他

## ③ 地域貢献に、高校は

- ・地域ボランティア
- ・イベントに参加
- ・会員制交流サイト（SNS）で町をPR
- ・登下校時、挨拶する
- ・丸森に住んで働く

他

伊具高生から聞いた  
住みたいまちは

こんなまちです

- ・医療福祉が充実した町
- ・治安がよく、安全な町

- ・働く場所がある町
- ・施設が整った町
- ・地域交流のある温かい町
- ・商業、娯楽施設がある町
- ・街灯が多い町
- ・交通機関が充実した町
- ・若い人や高齢者が楽しめる町

# 全校にエアコン設置可決

## 12月議会のおらまし

12月議会定例会は、12月4日から6日まで3日間の日程で開催しました。議会では、条例改正、指定管理者の指定、各種会計補正予算等の議案が提案されました。慎重な審議の結果、町長提案の議案を、すべて原案どおり可決しました。一般質問には、6名の議員が登壇し、高齢者に優しい町づくり、あぶくま荘と周辺整備等について議員自らの考えを交え、町長の考えをただすなど、活発な議論が行われました。

## 条例改正

再編に伴う保育所等の設置・管理条例の一部改正

保育所等の再編に伴い、関係する条例の一部を平成31年4月1日から改正するものです。

来年度から、町保育所は、大内保育所のみとなります。

## 指定管理

指定管理者は継続

○各地区まちづくりセンター  
各地区自治組織  
○丸森町立金山図書館  
金山自治会

○丸森町高齢者生産活動センター  
公益社団法人 丸森町シルバー人材センター

指定期間 平成31年4月1日から3年間

## 主な補正予算

小・中学校のエアコン設置  
1億5240万円

町内8小学校の48普通教室と中学校の全教室に、エアコンを設置するための予算です。

○小学校空調設備実施設計委託料 940万円

○小学校空調設備工事費 9800万円

○中学校空調設備工事費 4500万円

## 企業立地奨励金に

3577万円

設備投資した町内企業に対して奨励を行い、雇用拡大を図ることを目的とした予算を追加しました。

## 放課後児童クラブの改修に

1009万円

丸森及び館矢間地区の放課後児童クラブ利用者の増加に伴う改修等の予算と、小斎地区に放課後児童クラブ

を新設するための予算を追加しました。

○改修工事費 722万円

○備品購入費 137万円

○工事設計委託料(小斎) 150万円



完成間近の「ひまわりこども園」(館矢間地区)

# 常任委員会活動レポート

## 産建教育常任委員会



気仙沼市のインバウンド事業に従事するニシャントさん

10/25～26

## 視察調査

(岩手県平泉町/宮城県気仙沼市)

### 進む民泊・外国人誘客

平泉町では、長年、教育旅行の受入れを農家主体で実践し、町の活性に繋げてきました。

高齢化などによる、民泊継続の苦勞が伺えましたが、経験を活かし、民泊新法で新たな方向を見い出そうと工夫していました。気仙沼市では、国内観光客や外国人誘客に市全体で取り組む体制を整備し、進めていました。

両市町の努力を、本町観光振興の参考にしたいです。

産建教育常任委員長

宮本昭雄

## 総務民生常任委員会



新たなまちづくりに取り組む阿賀町での研修

11/8～9

## 視察調査

(新潟県阿賀町)

### 定住100%の協力隊員

阿賀町は、平成26年から農業、観光、林業などに25名の地域おこし協力隊を受け入れていました。

隊員は、阿賀野川ライン下りの船頭、公営塾講師など様々な職種で活躍しており、3年の任期が終了した後は、9人全員が阿賀町に定住していました。

全国的に見ると、隊員の定住率は30%ですが、阿賀町の100%は大変素晴らしいことで、とても参考になりました。

総務民生常任委員長

庄司一郎

# 町はどう動くか

に関する要望決議について、次のとおり回答がありました。

## 協力隊の定住支援

**要望** 地域おこし協力隊員の委嘱終了後、定住が促進するよう対策を講じること。

**回答** 本年度から隊員同士の月例会と、協力隊支援者の連絡会議を開催し、情報交換や活動を見守っている。平成31年度からは、起業するための経費を支援するなど、委嘱終了後も活躍できる制度をつくる。

## 町税の収納率向上

**要望** 納税貯蓄組合の存続と、納付環境の整備を進め、収納率向上に努めること。

**回答** 確実な集金と納期内納付及び地域の連帯感にも貢献する等、組合の持つ役割に理解を得て、存続を図っていく。また、口座振替納付を勧めるとともに、コンビニ納付の導入を検討し、収納率の向上に努める。



協力隊員が一緒になって取り組む野菜作り（大内地区）

## 地区別計画の見直し

**要望** 各住民自治組織の活動指針である地区別計画の見直しを、町と住民自治組織の協働で早期に行うこと。

**回答** 地区別計画は、地区活動の中心となるものであり、状況に応じた見直しが必要になる。

見直しに当たっては、顕在化した社会的課題をも取り入れた計画になるよう、協働で実施する。

## 職員提案の実現

**要望** 職員提案制度で採用された事項は、職員の意識高揚に繋がるよう検討を行い、早期実現に努めること。

**回答** 行財政運営に関し、職員の創意工夫により、能力開発と組織力の向上を図ることが制度の目的である。

現在、提案制度の見直しも行っており、採用された提案の実現に向け努力する。



環境美化に取り組む地区住民（舘矢間地区）

# 議会の要望に

## 9月定例会で提出した平成29年度各種会計決算に

### 地域での高齢者支援

**要望** 高齢者等が住み慣れた地域で、安心して暮らすために、地域包括ケアシステムの充実に努めること。

**回答** 地域内での介護予防事業の実施や住民による生活支援、専門職による医療や介護サービスの提供など、町がつなぎ役となって関係者の連携・協力体制をつくり、早期実現を目指す。

### 農業生産額の目標達成

**要望** 農業組織との連携強化により、農業振興ビジョンの確実な推進による目標達成を図ること。

**回答** 農業者や関係機関・団体との協力連携を深め、ビジョンに掲げた施策や事業の推進と推進委員会での評価検証により、農業産出額50億円等、目標達成を目指す。

### 外国人観光客の誘致

**要望** 外国人観光客誘致事業は、関係市町との連携及び意思統一により、最大限の投資効果を上げること。

**回答** 宮城県南4市9町及び一般財団法人宮城インバウンドDMOや民間企業と連携のうえ、意思統一を図り、地域の魅力を最大限に活かした効果的なプロモーションを推進する。

### 確実な道路改良

**要望** 道路改良は住民の要望が強いので、財源を確保しながら早期完成に努めること。

**回答** 快適で利便性の高い道路環境の整備を計画的かつ早急に進めるために、国や県に対し、整備計画の着実な実施が図れるよう、事業費の確保について強く要望している。

### 教室にエアコン設置

**要望** 教室の環境改善による児童生徒の健康保持や教育効果を高めるため、エアコン設置に早急に取り組むこと。

**回答** 中学校は、補正予算でエアコン設置経費を計上、夏には稼働したい。小学校は、順次設置の予定である。



出荷額の増加が期待される特産品のあんぽ柿（耕野地区）



早期完成が待たれる町道北伊手山口線（小斎地区）

# 平成30年 第5回議会定例会

## 議案一覧

12月議会ではすべての議案を全員賛成により  しました。

議案第55号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第56号	丸森町保育所・児童館の再編に伴う関係条例の整備に関する条例制定について
議案第57号	丸森町地域福祉基金条例の一部を改正する条例制定について
議案第58号	仙南地域広域行政事務組合理約の変更について
議案第59号	財産の取得について
議案第60号	丸森まちづくりセンターの指定管理者の指定について
議案第61号	金山まちづくりセンターの指定管理者の指定について
議案第62号	筆甫まちづくりセンターの指定管理者の指定について
議案第63号	大内まちづくりセンターの指定管理者の指定について
議案第64号	小斎まちづくりセンターの指定管理者の指定について
議案第65号	館矢間まちづくりセンターの指定管理者の指定について
議案第66号	大張まちづくりセンターの指定管理者の指定について
議案第67号	耕野まちづくりセンターの指定管理者の指定について
議案第68号	丸森町立金山図書館の指定管理者の指定について
議案第69号	丸森町高齢者生産活動センターの指定管理者の指定について
議案第70号	業務委託契約の締結について（金山まちづくりセンター窓口業務委託）
議案第71号	業務委託契約の締結について（筆甫まちづくりセンター窓口業務委託）
議案第72号	業務委託契約の締結について（大内まちづくりセンター窓口業務委託）
議案第73号	業務委託契約の締結について（小斎まちづくりセンター窓口業務委託）
議案第74号	業務委託契約の締結について（館矢間まちづくりセンター窓口業務委託）
議案第75号	業務委託契約の締結について（大張まちづくりセンター窓口業務委託）
議案第76号	業務委託契約の締結について（耕野まちづくりセンター窓口業務委託）
議案第77号	工事請負契約の締結について
議案第78号	平成30年度丸森町一般会計補正予算（第3号）
議案第79号	平成30年度丸森町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）
中間報告について（請願）	
閉会中の継続審査について（請願）	



# 一般質問 町政を問う

一般質問とは、町長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えをたずめるものです。  
今回は6人の議員が質問しました。

頁	議 員	質 問 事 項
10	板 橋 勇 議員	●高齢者に優しい町づくりを
11	宮 本 昭 雄 議員	●学校安心安全の向上を
12	一 條 己 議員	●若者の定住対策は
13	鈴 木 美智子 議員	●災害の備えは
14	船 山 俊 一 議員	●あぶくま荘と周辺整備は
15	大 槻 正 儀 議員	●協働の町づくりの方針は



# 高齢者に優しい町づくりを

## 町長 引き続き力を注ぐ



いたばし 板橋 勇 議員

**問①** 運転免許証を自主返納した高齢者の生活の足を確保する、交通費などを助成する支援制度を提案する。支援制度は宮城県内で20市町村、仙南では、角田市、大河原町、村田町、川崎町、七ヶ宿町で実施している。

頻繁に、高齢者による重大な交通事故が報道され、社会的に懸念されている。高齢者の多くは、自分の運転技術に大きな不安を感じながらも、生活の足がなくなることが心配で、運転免許証の自主返納を決断できないでいる。次の点を町長に問う。

氏名	○ ○ ○ ○	昭和 ○○年 ○○月 ○○日生
住所	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
交付	平成○年○月○日	○○○○○-○
<b>運転経歴証明書</b> (自動車等の運転はできません)		
番号	第 ○○○○ ○○○○ ○○○○ 号	
二小類	平成 ○○年 ○○月 ○○日	種 類 - 普 通 - - - - - - - - -
他	平成 ○○年 ○○月 ○○日	
二種	平成 ○○年 ○○月 ○○日	
○○ 公安委員会		

自主返納するともらえる証明書 (申請が必要)

隣の山元町の制度は素晴らしく、本町もそれ以上の制度設計をすべきだ。また、「あし丸くん」との整合性や認知症で運転免許取消し者にも配慮して、一定の年齢制限を設けて交

通費などの助成金制度も設計すべきではないか。  
**答①** 他の自治体では、自主返納した年に限り、電車やバスの利用券を1万円程度助成するなど自主返納の促進を図っており、本町でも

同様の制度を検討している。

**問②** 現在、本町には地域福祉基金2億5500万円、長寿社会対策基金5000万円があるが、これらの基金を高齢者の新しい施策に活用する事を提案する。新しい施策はあるのか。

**答②** 今年度から70歳以下を対象に「いきいき元気塾」を開催し、元気なうちから運動や食事などの生活習慣病予防や介護予防に取り組んでいる。

高齢者が自らの健康づくりに取り組むと共に、地域の支え手として活動できる仕組みづくりを検討する。

**問③** 「高齢者に優しい町」、「高齢者が住みたい町」、日本一を宣言してはどうか。  
**答③** 高齢者のみならず、誰もが住んで良かったと思える町の実現に向けて、引き続き注力する。

# 学校安心安全の向上を

## 教育長 家庭との連携深める



みやもと しょうお  
**宮本 昭雄** 議員

児童生徒が安心して学校生活を送れる環境づくりを、町と教育委員会が役割分担と連携強化で進めることが必要だ。次の課題にどう対応する考えか問う。

**問①**国は、児童生徒の健康と快適な学習環境を確保するため、教室エアコンを整備する予算を立てた。

町でも補助金を申請して早期設置に取り組みべきと思うが、どうか。

**答①**町長国の補助金を活用し、全部の普通教室に設置する経費を今回の補正予算に計上した。早期の稼働を目指し、整備に取り組む。

**問②**野菜などの値上がりで、学校給食の栄養基準が、達成できない問題が報道されているが、本町ではどうか。基準達成のための運用をどう行うのか。

**答②**本町でも一部の栄養項目に未達成があるが、全項目の達成を目指し、メニューの工夫をしながら、楽しく完食できる給食提供に努めたい。

また、消費税アップとなるが、次年度も給食費を値上げしないで運営したい。

**問③**宮城県内のいじめや不登校が、全国でも高い水準にあると報道され、その現状を心配している。

町の実態はどうか。いじめや不登校は、学校だけの問題と捉えずに、町をはじめ関係機関が一丸となって対応し、解決につなげる必要があると思うが、どうか。

**答③**町内での不登校児童生徒数は、中学校で14名、いじめは小学校で7件、中学校で3件確認している。

学校でのきめ細やかな対応や、保護者との十分な話し合いで解消に努めている。また、教育相談員の活動や各機関で構成する連絡協議会等で、未然防止や解決

策などを探り対応している。更に県のケア事業なども活用するなど、関係機関の連携を深め、学校復帰を目指していく。



「夢と希望を」丸森中学校志教育事例発表会

# 若者の定住対策は

## 町長 定住支援制度を構築



いちじょう 一 條 議員

11月8日に、常任委員会で新潟県の阿賀町に行き、地域おこし協力隊の活動及び定住状況について研修をしてきた。

阿賀町では、丸森町と同じ課題があり、地域おこし協力隊とふるさと納税を活用していた。

**問①** 協力隊員は、町のどんな課題解決に取り組むのか。  
**答①** 少子高齢化と人口減少に加えて、産業の担い手不足対策に課題がある。  
農業・介護・福祉分野での人材確保も検討したい。



協力隊員が勤めている移住定住サポートセンター（丸森駅構内）

**問②** 隊員の定住には、企業誘致も必要である。

町が東北放射光施設建設に出資して、利用枠を確保してはどうか。

**答②** 本町に定住することが大きな目的であり、平成31年度からは、隊員が本町で

起業するために必要な経費を支援するなど、制度を構築する。

**問③** 役場に婚姻届を提出するカップルに、記念品を贈ってはどうか。

あぶくま荘の入浴券や起

業した隊員の赤パンツ、民宿の食事券など、どうか。  
**答③** 結婚後の生活自体に支援することが、広い意味でのお祝いになると考える。

**問④** 通学や買い物などに利用する国・県道の歩道だが、雑草や支障木で危険なところがある。

住民が危険個所を連絡する部署を明確化し、子供と高齢者の交通安全の管理を徹底してはどうか。

**答④** 国は「子供と高齢者に配慮した交通環境の整備促進」を進めている。

道路の障害や危険個所を発見した場合には、建設課へ連絡するように周知する。

**問⑤** 学校のエアコン設置の取り組みを、早急に始めてはどうか。

**答⑤** 国の交付金を活用し、早期稼働に努める。

# 災害の備えは

## 町長 必要な支援や対策を行う



鈴木美智子 議員

大規模災害の対応について、提案も含めて町長に問う。

**問①** 災害時に家族などの支援が困難で、何らかの支援を要する者の避難行動要支援者名簿と、避難方法などに関する個別計画あんしんカードの、速やかな更新が難しい状況とみる。どう更新するのか。

**答①** 毎年、定期的にあんしんカードの記載内容を本人などに確認してもらい、必

要な修正手法を検討して適正な更新に努める。

**問②** 外国人労働者と就労先企業や自主防災組織などが連携し、災害時の外国人労働者の安全確保や外国人観光客への避難情報の提供にどう取り組むか。

**答②** 自主防災組織と就業先企業のサポートで安全確保できると考えているが、今後とも状況をみながら必要な支援や対策を講じる。

**問③** 地域包括ケアシステムの構築に災害時支援を位置付け、ケアプランに立案してはどうか。

**答③** 必要性や実用性について関係者と意見交換を行う。

**問④** 丸森病院が中心となり、町内外の病院などと連携し、避難行動要支援者を支援する仕組みをどう確立するか。

**問⑤** 緊急車両の扱いを定めるなど、速やかに給油できるように取り組んではどうか。

**答④** 丸森病院が医療救護の拠点の役割を果たす仕組みを目指し、町が中心となり関係者と意見交換を行う。

**答⑤** 状況に応じて、福祉担当部署及び災害担当部署が連携し、対応していきたい。



忘れていませんか。あんしんカード

# あぶくま荘と周辺整備は

## 町長 調査に基づき方針を示す



ふなやま しゅんいち  
船山 俊一 議員

齋理屋敷や町内直売所を観光の柱としたうえで、今後、あぶくま荘と不動尊公園キャンプ場、その周辺整備を積極的に進め、滞在型観光を推進し、かつ交流人口を増加させ、ひいては地域活性化を実現する取り組みは、重要である。

この観点到立ち、観光振興の方向性を町長に問う。

**問①** あぶくま荘の建て替えは、第五次丸森町総合計画の中で、主要な事業と位置づけられ、かつ町民の健康保養施設でもある。

今後、前向きに進めているのか。



不動尊公園キャンプ場内にオープンしたMARUMORI-SAUNA

**答①** 建て替えは、早急な課題であり、直ちに着手したいが、現在実施中の「丸森町観光施設管理運営方法等調査」の結果を踏まえて、方針を示したい。

**問②** あぶくま荘の民間譲渡やPFIの導入、または、これまでのような指定管理者制度による民間活用などがあるが、あぶくま荘の経営改革をどう進めていくのか。

**答②** 観光施設管理運営方法等調査は、現在経営分析が終わり、今後、町内の企業や県内の実績を有する企業から、ヒアリング形式で意見を聞くことになっている。その調査結果に基づき、慎重に判断する。

**問③** 不動尊公園キャンプ場は、外国人観光客の誘致を含め、これからの観光客の誘客促進に向けて、どう取り組んでいくのか。

**答③** 豊かな自然に、利便性の高い立地、民力である丸森サウナ(株)の参入や、インバウンドの来訪等、キャンプ場は新たな段階に入った。関係各位と連携を図りながら、誘客に努めていく。

**問④** あぶくま荘と不動尊公園キャンプ場、及びその周辺整備を行う観光プロジェクトを、町は進める考えはあるのか。

**答④** 現状維持は後退という考えの下、常に改善を加えながら、最大の効果を目指すのが、私の務めである。

# 協働の町づくりの方針は

## 町長 住民が補いあう町に



おおつき まさよし  
**大槻 正儀** 議員

町と、地区住民や自治組織が求める、まちづくりの手段や将来像には、かい離や目標の不一致がある。この度、町が策定した丸森町協働によるまちづくり基本方針の、具体的な展開方法について問う。

**問①** 方針は、課題解決型で、創造型と比べて、行政側も住民側も負担が大きい。職員や住民のコンセンサスはどの様にして得るのか。

**答①** 方針は住民、自治組織、町がお互いを尊重し、補い合う地域づくりを目指すものであり、実践をとおして住民、自治組織、町職員に

意識を広めたい。

**問②** 国の創生総合戦略では、集落生活圏の将来像の合意形成を、地域の住民で行うとしているが、町が想定する集落生活圏はどの範囲か。

また、町では集落生活圏の将来像に、どのような対応を行うのか。

**答②** 自治組織ごとの8地区と捉えており、今後も各地区の集落機能の維持・継続を目指す。

**問③** 「今後の町の考え」として、町の責任と決意を明確にしたことは素晴らしいが、庁内体制の強化は、どの様に行うのか。

**答③** 職員の意識改革による庁内体制の強化を図るほか、国・県の協力や、専門家の派遣など効果的対応を行う。

**問④** 自治組織を「支援を強化する」としているが、町は住民と一緒に策を練り、共に実践する姿に、住民は信頼を寄せるのではないか。

**答④** 自治組織が対外的な事業を行う際に宣伝・PRを支援するほか、課題を共有し、話し合いを重ねて解決に取り組む。

**問⑤** 「自治組織が持続されるための財源確保」とは具体的事例としては何か。

**答⑤** 中山間地域等直接支払い交付金事業などの事務や直売所の経営の例がある他、高齢者支援などの、あらたな事業を共に探る。



町からの資材供給と住民の協力で行った道路整備（大内佐野地区）



## 日本一おいしい米づくりの里を目指したい

小斎地区

おおうち よしひろ  
大内 喜博さん

このコーナーは、議員が住民宅を訪問して直接インタビューを行い、ご意見を伺う企画シリーズです。

Q 専業農家として、丸森に生きる事を決めた最大の理由は何ですか。

A 農業に従事して12年になります、農家の長男として生まれ、高校生の頃から、親の後を継ごうと思っていましたので、県農業実践大学卒業後、就農しました。

Q 経営形態や規模をお伺いします。

A 稲作は35ha、飼料米12ha、作業受託は10haです。他に、大豆2haと小菊栽培をしています。

Q 稲作農家としての課題は、ありますか。

A 近年、委託される水田が急増し、管理が追い付かない状況で、いかにして労働力を確保するかです。

Q 長年、子ども達に食育活動をされているそうですが。

A 小斎小学校の学習田での田植え、稲刈り、管理を手伝い、小斎の子も達に食育と「日本一おいしい米づくりの里 小斎」を伝えていきたいです。

Q 今後の抱負や夢を、お聞かせください。

A 効率的な管理体制を確立し、丸森町の農産物や農地全体が、誰が見ても素晴らしいと感じる農業や水田にしたいです。

ご協力ありがとうございました。

(板橋 勇委員)

### 地方自治功労者表彰受賞

宮城県では、文化の日を記念して、多年にわたり県勢の発展・県民の福祉の増進に尽力された方々の表彰があり、板橋勇議員が受賞されました。



お詫びと訂正

丸森町議会だより第245号(9頁)において、写真説明に誤りがありました。謹んでお詫び申し上げます。【誤】「民泊」↓【正】「民宿」

### 表紙のこぼれ

平成31年の「初日の出」を写真に撮ろうと百々石公園に行くと、展望台で5人の若者たちと出会った。

彼らは、館矢間から来た高校3年生で、写真に写るのを快く承諾してくれた。寒風に耐えながら待つこと数十分、空を赤く染め、山頂から眩い光が現れた。

平成から新元号になる年に初日の出の瞬間を、未来を担う若者たちと同じ場所で過ごし、私にとって忘れられない出来事となった。高校を卒業して、それぞれの道を進む彼らに幸多いことを願う。

(鈴木美智子 委員)

### 議会を傍聴してみませんか

次の議会は、**午前10:00～**  
**3月5日(火)より開会予定です**

※日程は変更になる場合があります。  
※本会議の日程は、後日、町ホームページでお知らせいたします。

お問い合わせ先 議会事務局まで ☎72-3038 [直通]

### 議会広報常任委員会

委員長	板橋 勇
副委員長	船山 俊一
委員	鈴木美智子
	大槻 正儀
	小野 勝朗
	一條 功